

発刊にあたって

根室市長
長谷川 俊輔



根室市の漁業は、北方海域の豊かな水産資源を背景に、北洋漁業の開拓とともに発展を続けてまいりましたが、相次ぐ国際漁業規制の強化によって、沖合漁業の縮小を余儀なくされ、漁業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

近年では、ロシアの資源管理強化が進み、対口漁業の先行きは不透明な状況が続いており、地域漁業の中核を担っておりました、ロシア200海里内でのサケ・マス流し網漁業が平成28年1月より禁止となったため、水産物取扱量の多くをロシア水域に依存している本市にとって、戦後6度目の大打撃となりました。

サケ・マス流し網漁業問題につきましては、国の補正予算措置に基づき、「代替漁法」や「代替漁業」をはじめとした対策が進められましたが、いずれも厳しい結果となったところであり、今後、関係者との検証・協議を重ねていく中で、対策効果が真の意味で地域に反映されるようさらなる要請活動を展開するなど、地域経済への影響緩和に努めてまいります。

また、根室半島の沿岸域について、その利活用や、沿岸漁業の新たな可能性を模索し、水産加工分野や流通分野も含めた今後のあり方を検討するために、各分野の学識者を交えた検討会議を開催し、その提言に基づく、「沿岸漁業資源利活用ビジョン」を策定したところであり、これらの内容を新年度の事業に反映させて、持続可能な漁業を目指した取り組みをさらに加速させてまいりたいと考えております。

この度、本市水産業の現状を紹介する「水産ねむろ」を発刊いたしました。本市の水産の姿をご理解いただき、今後ともお力添えをいただければ幸いです。

平成29年3月